

基礎杭や地下連続壁の効果に関する調査の進捗について

令和2年（2020年）6月15日

総務局 管財課

(1) 経緯

- ・令和元年度の特別委員会において、「参考人の意見に基づく基礎杭の密集効果や地下連続壁の効果について、定量的な算出を試みるための調査を行う」こととなり、令和元年度2月補正予算で、調査に必要な経費として3千万円を計上した。

(2) 調査の進捗状況

○現在までの状況

令和2年3月に、特別委員会の資料や参考人からの提示資料を広く公開したうえで、今回の業務の実施項目、算出手法等の調査内容について、公募型プロポーザルで募集したところ、1社から応募があり、提案内容を審査し契約に至った。

○契約の概要

- ・調査概要：基礎杭の密集効果や地下連続壁の効果に関する定量的な算出を試みて、指定性能評価機関からの見解を確認しながら、耐震性能の有無を評価し検証する。
- ・業務名：本庁舎の基礎杭及び地下連続壁の効果等に関する耐震性能の検証業務委託
- ・受託業者：(株)山下設計 九州支社（業務の総括管理は東京本社設計本部で実施）
- ・受託金額：29,700,000円
- ・受託期間：令和2年4月1日～9月30日

○今後の進め方

本調査業務の完了後に、特別委員会へ報告する。